

も

も 桃沢の自然に触れる 水と緑の杜公園

桃沢川の自然と触れ合うことができる。涼しい木陰の木道を歩きながら、木、鳥、虫などの自然観察ができる。吊り橋やビオトープゾーン、芝生広場のほか水遊びができる池もあり、一日中楽しめる。駐車場やトイレ施設も充実して、「桃沢キャンプ場」「桃沢野外活動センター」や「桃沢工芸村」も近い。

や

や 山中の城見て眠る 直末公

尾尻公園に一柳直末の首塚がある。直末は美濃河田の城主で、天正18年(1590)豊臣秀吉の小田原攻めの際、山中城の戦いで先鋒を務め銃弾にあたり38歳の生涯を閉じた。直末に従っていた旗持留兵衛は、主人の首が敵に奪われることを恐れ前夜宿営し、山中城を望む下長窪尾尻に埋葬したと伝えられる。

ゆ

ゆ 遊歩道 散歩楽しむ 桜堤

大場川に沿った長泉町側の桜堤2丁目から3丁目にかけて、桜堤遊歩道が整備されている。堤にはたくさんの桜が植えられていて、花のシーズンには桜吹雪の中、花を愛でながら散策やウォーキングを楽しんでいる人達を多く目にし、桜堤北公園にはトイレもある。北西に目を転じれば霊峰富士の雄姿も眺められる。

よ

よ 頼朝が定めし国境 境川

裾野市から流れてくる境川は、むかし三島市幸原の青木橋の西側から中土狩を経て、三軒家に下り清水町へ流れていた。建久6年(1195)源頼朝が、奈良東大寺大仏供養の帰路黄瀬川宿で、駿河国と伊豆国との境についての訴訟を聞き、この川を以って境と定めたとされている。

ら

ら 落日に富士の夕映え 見える町

長泉町内のほとんどの場所から、四季折々の霊峰富士を見ることができ。桜堤の遊歩道からの雄大な富士、黄瀬川の川面越しに見る富士、下土狩駅から見る富士など様々な富士が楽しめる。特に夕日に映える富士は格別である。

り

り リンゴなる 青木村との 姉妹都市

大自然に抱かれた高原の山村との交流を目指すことから、平成8年(1996)に青木村と覚書を交わし交流が始まった。平成19年(2007)11月17日に姉妹都市提携され、毎年多くの町民がリンゴ狩りに訪れたり、お互いの産業祭などの交流が行われている。青木村は、長野県東部の山村である。

る

る ルンロンと吊り橋楽し 自然公園

駿河平自然公園は、町北部の丘陵地帯にある閑静な住宅地に隣接しており、昭和47年(1972)に都市公園として設置された。ここには長さ130mのつり橋「遊々橋」があり、きれいな小川も流れている。周辺にはビュエ美術館や井上靖文学館などもあり、文化の香りが漂う公園である。

れ

れ 蓮華寺に筆子が建てし 筆子塚

蓮華寺は、室町時代に創建されたと伝えられる法華宗の寺院である。江戸時代、ここには寺子屋があり、読み・書き・そろばんが教えられていた。墓地には、天保6年(1835)に死没した日思上人を偲び、男子16人、女子4人の筆子たちにより建てられた筆子塚がある。

ろ

ろ ロマン追い 古き時代へ 文化財展示館

文化財展示館は、長泉町の埋蔵文化財や民具などの民俗資料を展示しており、町の歴史を見て知ることができる。また、本物の土器などに触れることができるコーナーや、インターネットに接続したパソコンを使うことができる。

わ

わ 割狐塚 溶岩の上に 稲荷神社

稲荷神社は、三輪家の屋敷神で与惣兵衛稲荷と呼ばれていたが、江戸時代の宝永年間、村の氏神となった。神社の建つ丘は、富士山の溶岩流の末端にできた溶岩塚で、塚の頂にはいくつかの亀裂がある。ここから狐が飛び出したという伝説から割狐塚と言われ、割狐塚稲荷神社と呼ばれるようになった。

長泉町ふるさとカルタ  
ガイドブック完成に寄せて

このたび、長泉町の「宝物」を共有し、共遊(ともにあそぶ)するためのアイテム、第3弾として「長泉町ふるさとカルタガイドブック」を作製しました。平成21年は静岡県が国民文化祭の当番県にあたり、各地で様々な活動が行われることとなりました。そのため、このふるさとシリーズの第1弾として、国民文化祭の開催に併せ「長泉町ふるさとカルタ」を作製。

第2弾として、平成22年が長泉町の町制施行50周年にあたるため、その記念すべき時期に併せて「長泉町ふるさとスゴロク」を作製しました。

既に作製済のカルタスゴロクで遊んでくださった多くの人たちが、この「ガイドブック」を片手に目的の場所を訪ね、「宝物」を更に磨きあげることに活用していただければと思います。「ガイドブック」の作製にあたり、目的の場所を探すために、わかりやすい表示・表記に可能な限り努めました。ご意見等ございましたら、お知らせいただければ幸いです。